

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## **IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
Please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61-141283

⑬ Int. Cl.  
B 65 D 85/57

識別記号 庁内整理番号  
7312-3E

⑭ 公開 昭和61年(1986)9月1日

審査請求 有 (全2頁)

⑮ 考案の名称 フロッピーディスク収納ケース

⑯ 実 願 昭60-24217

⑰ 出 願 昭60(1985)2月22日

⑱ 考 案 者 石 倉 治 郎 東京都千代田区外神田4丁目5番4号 ニッセー株式会社 内

⑲ 出 願 人 ニッセー株式会社 東京都千代田区外神田4丁目5番4号

⑳ 代 理 人 弁理士 鳥居 孝明

㉑ 実用新案登録請求の範囲

背部1を境に左右の折り目イ、ロを介して左右の表紙部2と裏表紙部3とを折曲自在に形成し、表紙部2の裏側2a三方に周壁4, 5, 6を立設すると共に背部1寄りの周壁7は前記周壁4, 5, 6より低く形成し、更に裏表紙部3の裏面3aの四方に周壁8, 9, 10, 11を立設すると共に、これらの周壁8, 9, 10, 11の内周縁に接合縁12, 13, 14, 15を突設して収容部16を形成し、表紙部2の上下の周壁4, 6には背部1と反対の開口側の内周4a, 6aに凸部17, 18を形成し、裏表紙部3の上下の接合縁12, 14の開口側の上下の外周12a, 14aには前記凸部17, 18に係脱出来る凹部19, 20を形成したことを特徴とするフロッピーディスク収納ケース。

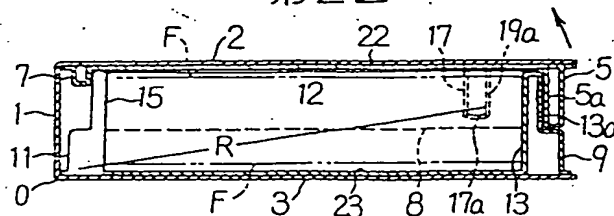
図面の簡単な説明

第1図は表紙部を開いた状態の本案品の斜視

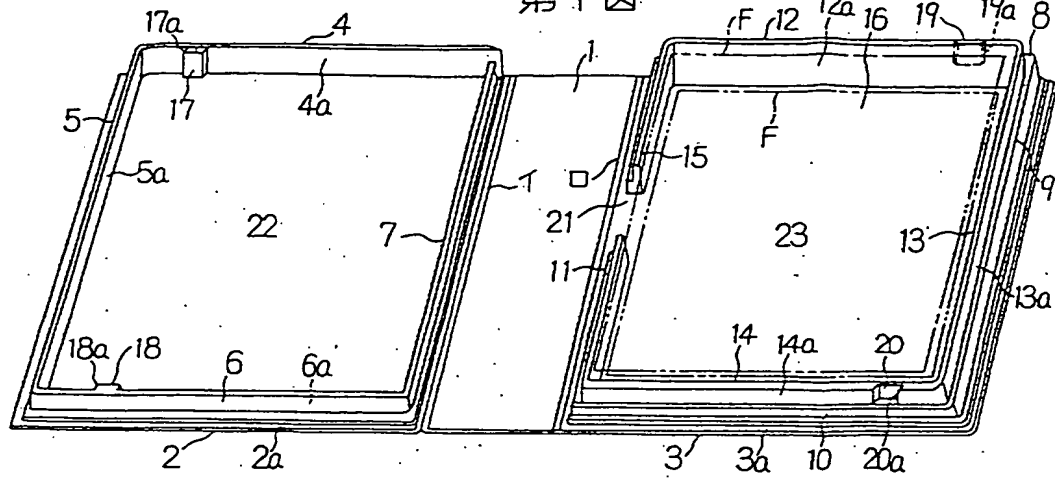
図、第2図は本案品を閉じた状態の断面図、第3図は従来品を開いた状態の斜視図である。

符号：1……背部、2……表紙部、2a……裏面、3……裏表紙部、4……周壁、4a……内周、5……周壁、5a……内周、6……周壁、6a……内周、7……周壁、8……周壁、9……周壁、10……周壁、11……周壁、12……接合縁、12a……外周、13……接合縁、13a……外周、14……接合縁、14a……外周、15……接合縁、16……収容部、17, 18……凸部、19, 20……凹部、21……切欠部、22……基板、23……底板、イ・ロ……折り目、F……フロッピーディスク、R……半径、A……背部、B<sub>1</sub>・B<sub>2</sub>……表紙、C<sub>1</sub>・C<sub>2</sub>……収容部、D<sub>1</sub>・D<sub>2</sub>……周壁、E……接合縁。

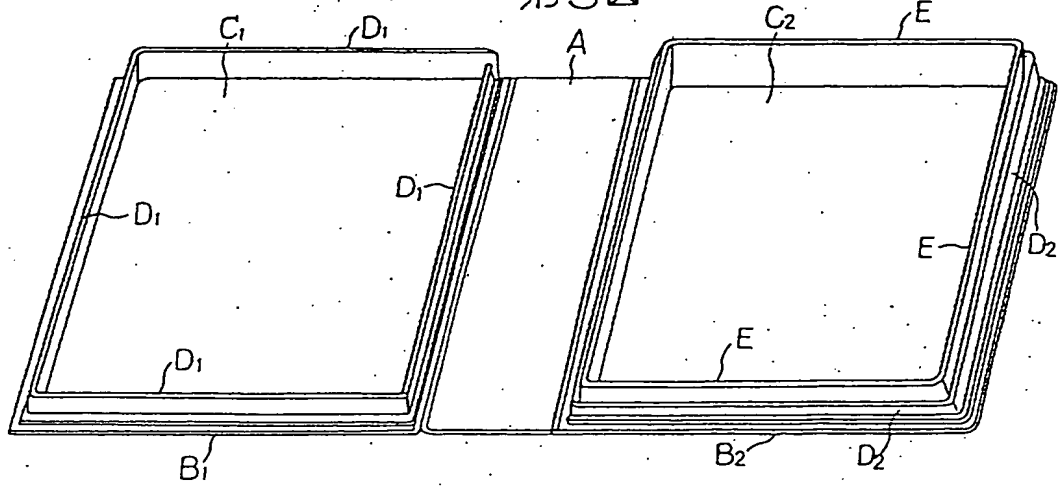
第2図



第1図



第3図



# 公開実用 昭和61-141283

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-141283

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

B 65 D 85/57

識別記号

庁内整理番号

7312-3E

⑭ 公開 昭和61年(1986)9月1日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 フロッピーディスク収納ケース

⑯ 実 願 昭60-24217

⑰ 出 願 昭60(1985)2月22日

⑱ 考 案 者 石 倉 治 郎 東京都千代田区外神田4丁目5番4号 ニッセー株式会社  
内

⑲ 出 願 人 ニッセー株式会社 東京都千代田区外神田4丁目5番4号

⑳ 代 理 人 弁理士 鳥居 孝明

# 公開実用 昭和61- 141283

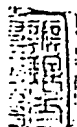
## 明 細 書

### 1. 考案の名称

フロッピーディスク収納ケース

### 2. 実用新案登録請求の範囲

背部(1)を境に左右の折り目(1)(1)を介して左右の表紙部(2)と裏表紙部(3)とを折曲自在に形成し、表紙部(2)の裏面(2a)三方に周壁(4)(5)(6)を立設すると共に背部(1)寄りの周壁(7)は前記周壁(4)(5)(6)より低く形成し、更に裏表紙部(3)の裏面(3a)の四方に周壁(8)(9)(10)(11)を立設すると共に、これらの周壁(8)(9)(10)(11)の内周縁に接合縁(12)(13)(14)(15)を突設して収容部(16)を形成し、表紙部(2)の上下の周壁(4)(6)には背部(1)と反対の開口側の内周(4a)(6a)に凸部(17)(18)を形成し、裏表紙部(3)の上下の接合縁(12)(14)の開口側の上下の外周(12a)(14a)には前記凸部(17)(18)に係脱出来る凹部(19)(20)を形成したことを特徴とするフロッピーディスク収納ケース。



### 3. 考案の詳細な説明

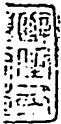
産業上の利用分野

本考案は両開き型のフロッピーディスク収納ケースに関する。

従来の技術

従来の両開き型のフロッピーディスク収納ケー

スは軟質合成樹脂の素材を用いて、背部(A)の左右に表紙(B<sub>1</sub>)(B<sub>2</sub>)を設け、この背部(A)を境に左右に収容部(O<sub>1</sub>)(O<sub>2</sub>)を設けて折り畳み自在に形成し、それらの収容部(O<sub>1</sub>)(O<sub>2</sub>)の周縁には少許の高さの周壁(D<sub>1</sub>)(D<sub>2</sub>)を立設し、更に一方の周壁(D<sub>2</sub>)の内周縁に、他方の周壁(D<sub>1</sub>)の内周縁に接合する接合縁(E)を立設し、収容部(O<sub>1</sub>)(O<sub>2</sub>)の何れか一方にフロッピーディスクを収容し、表紙(B<sub>1</sub>)(B<sub>2</sub>)を背部(A)を境にして折り畳んで収納し、また展開して取り出すことが出来るように形成していた。



#### 考案が解決しようとする問題点

従来の構造によるとフロッピーディスクを収納するために表紙(A)を折り曲げた際に、夫々の収容部(O<sub>1</sub>)(O<sub>2</sub>)の背部(A)側の一方の周壁(D<sub>1</sub>)と他方の接合縁(E)とが屢々衝き当ることが多く、折り畳みにくいという欠点があった。このため、第3図に示した如く一方の収容部(O<sub>1</sub>)の背部(A)側の周壁(D<sub>1</sub>)の高さを低くして、他方の収容部(O<sub>2</sub>)の周壁(D<sub>2</sub>)や接合縁(E)との衝突を防止して来た。併し、この構造によると表紙(B<sub>1</sub>)を折り畳んだ際に、接合縁(E)

とと高さを低くした周縁(D<sub>1</sub>)との接合部分が少いた  
め、折り畳んで対向している表紙(A<sub>a</sub>)の一方に外  
部から開閉側に向って斜め方向の圧力が加わったり、  
或いは長期間に亘り使用して背部(A)が脆弱になっ  
て来ると、低くした周壁(D<sub>1</sub>)が接合縁(E)を越えてケ  
ースが潰れる状態になり、収納してあるフロッピー  
ディスクに圧力がかかる等の悪影響を与えるおそれ  
があり、体裁も悪い等の欠点があった。

本考案は従来の欠点を更に除去するため、表紙を  
閉じた際に対向する表紙がずれることのないように  
構成して、収納してあるフロッピーディスクを保護  
すると同時に体裁の良いケースを提供することを目的と  
した考案である。

#### 問題を解決するための手段

本考案は、背部(1)を境に左右の折り目(1)(1)を介し  
て左右の表紙部(2)と裏表紙部(3)とを折曲自在に形成  
し、表紙部(2)の裏面(2a)三方に周壁(4)(5)(6)を立設  
すると共に背部(1)寄りの周壁(7)は前記周壁(4)(5)(6)よ  
り低く形成し、更に裏表紙部(3)の裏面(3a)の四方  
に周壁(8)(9)(10)(11)を立設すると共に、これらの周壁(8)

(9)(10)(11)の内周縁に接合縁(12)(13)(14)(15)を突設して収容部(16)を形成し、表紙部(2)の上下の周壁(4)(6)には背部(1)と反対の開口側の内周(4a)(6a)に凸部(17)(18)を形成し、裏表紙部(3)の上下の接合縁(12)(14)の開口側の上下の外周(12a)(14a)には前記凸部(17)(18)に係脱出来る凹部(19)(20)を形成して成るものである。

図中(21)は収容部(16)の周壁(11)及び接合縁(15)の中央部を切欠して形成した切欠部、フロッピーディスクを取り出す際にフロッピーの側縁に指をかけるため指を入れる切欠部である。

#### 作 用

本考案は上述のように構成したので、収容部(16)にフロッピーディスク(22)を収納して表紙部(2)を背部(1)の折り目(1)(10)を境にして裏表紙部(3)側に折り曲げて閉じると、周縁(4)(5)(6)の内周(4a)(5a)(6a)は接合縁(12)(13)(14)の外周(12a)(13a)(14a)に接すると同時に凸部(17)(18)が凹部(19)(20)に係合し、周壁(4)(5)(6)と接合縁(12)(13)(14)とは互いに確実に嵌合する。

#### 実 施 例

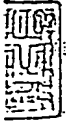
実施例を第1図及び第2図について説明すると、





# 公開実用 昭和61- 141283

軟質合成樹脂を素材として、背部(1)を境に左右の折り目(1)(1')を介して左右に表紙部(2)と裏表紙部(3)とを連設し、表紙部(2)の裏面(2a)には、三方には周壁(4)(5)(6)と残る一方、即ち背部(1)寄りには前記周壁(4)(5)(6)より低い周壁(7)を有する基板(8)を射出成型して貼着する。更に、裏表紙部(3)には、四方に周壁(8)(9)(10)(11)を立設し、これらの周壁(8)(9)(10)(11)の内周縁に接合縁(12)(13)(14)(15)を有する底板(16)を射出成型して貼着し、収容部(17)を形成する。前記表紙部(2)の上下の周壁(4)(6)にはケース開口側の内周(4a)(6a)に基板(8)と平行な断面が角状の凸部(18)(19)を形成する。そして裏表紙部(3)の接合縁(12)(14)のケース開口側の外周(12a)(14a)には、底板(16)と平行な断面が角状で且つ前記凸部(18)(19)に係脱出来る凹部(20)(21)を形成する。

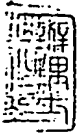


実施例によれば、収容部(17)にフロッピーディスク(22)を収納して表紙部(2)を閉じると、周縁(4)(5)(6)の内周(4a)(5a)(6a)は接合縁(12)(13)(14)の外周(12a)(13a)(14a)に接し、凸部(18)(19)が凹部(20)(21)に係合する。そして表紙部(2)を開ける際の凸部(18)(19)の隅角部(17a)(18a)は、裏表紙部(3)の一端の点(O)を中心に点(O)から隅

角部(17a)(18a)までの長さを半径(R)として円弧の軌跡を描いて廻転するので、隅角部(17a)(18a)は凹部(19a)(20a)の内面(19a)(20a)に当接し、接触摩擦によって凹部(19a)(20a)に対する凸部(17a)(18a)の係合が確実となる。

#### 効 果

本考案によれば表紙部(2)を折り目(1)を介して折曲して閉じた際、表紙部(2)側の凸部(17a)(18a)が凹部(19a)(20a)に係合するので、表紙部(2)に対し斜め方向の外圧が加わることがあっても、表紙部(2)側の低い周壁(7)が裏表紙部(3)側の接合縁(4)を越え、外圧が表紙部(2)を介して収納してあるフロッピーディスク(5)に加わることがないので損傷することなく、フロッピーの保護が確実であると同時に表紙部(2)がケースの開口側に向ってずれて突出することもないのでケースの型崩れを生ずることなく体裁も良好である。



#### 4. 図面の簡単な説明

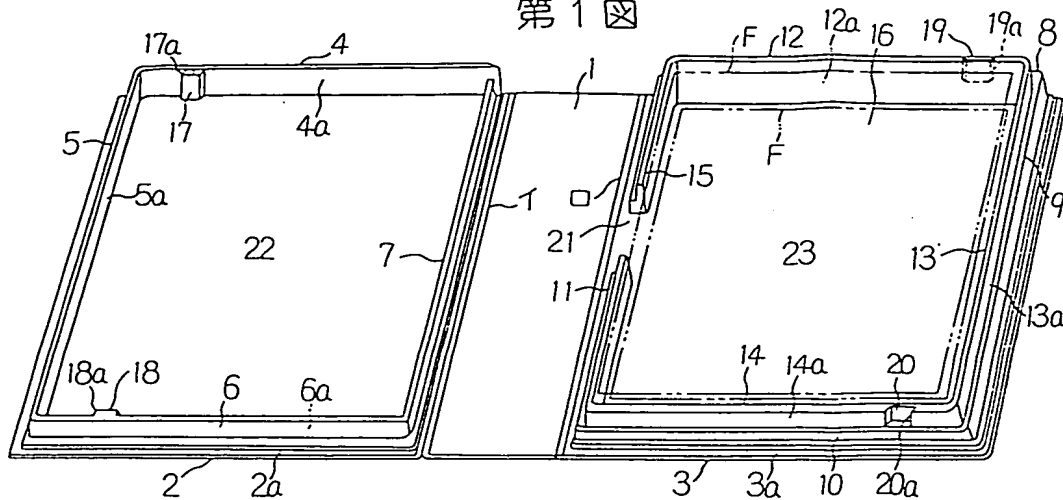
第1図は表紙部を開いた状態の本案品の斜視図、第2図は本案品を閉じた状態の断面図、第3図は従来品を開いた状態の斜視図である。

符 号 ;

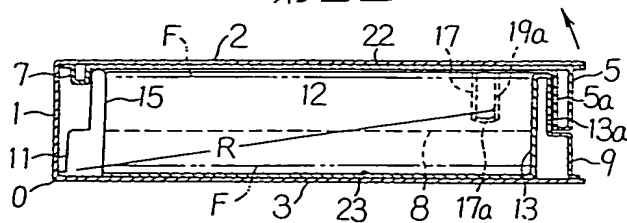
1	背	部	14	接 合 縁
2	表 紙	部	14a	外 周
2a	裏	面	15	接 合 縁
3	裏 表 紙	部	16	収 容 部
4	周	壁	17・18	凸 部
4a	内	周	19・20	凹 部
5	周	壁	21	切 欠 部
5a	内	周	22	基 板
6	周	壁	23	底 板
6a	内	周	イ・ロ	折 り 目
7	周	壁	フ	フロッピー
8	周	壁		ディスク
9	周	壁	R	半 径
10	周	壁		
11	周	壁	A	背 部
12	接 合 縁		B <sub>1</sub> ・B <sub>2</sub>	表 紙
12a	外 周		O <sub>1</sub> ・O <sub>2</sub>	収 容 部
13	接 合 縁		D <sub>1</sub> ・D <sub>2</sub>	周 壁
13a	外 周		E	接 合 縁



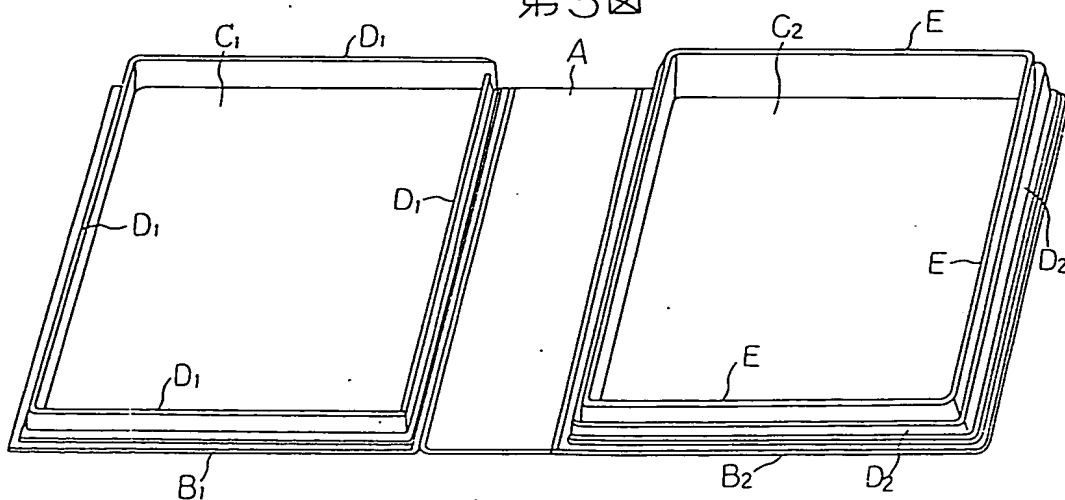
第1図



第2図



第3図



出願人 二七株式会社  
代理人 鳥居孝明



772

実開61-141283